

# みかんだより 6月号



2026.6

蒸し暑さを感じる日も増えてきましたが、子どもたちは興味のある遊びを見つけながらのびのびと過ごす中で、「これなあに?」「やってみたい!」という声がたくさん聞かれるようになり、子どもたちの興味や関心がますます広がってきています。一人ひとりの気づきや発見を大切にしながら今月も楽しく過ごしていきたいと思います。

## ～どろんこでの発見～

雨上がりの園庭には水たまりができ、絶好のあそび場が登場!

そーっと足を踏み入れてみるBちゃん。

B「みてー!はいっちゃった」

担任「楽しそう。一緒に入ってもいい?」

B「いいよ」

担任「柔らかいね。気持ちいい!」

C「Cちゃんも」

担任「いっちゃん、どろんこどう?」

C「あっ、これなに?」

担任「わたしの足跡だよ」

B「あしあとー」

C「あははははは!あしあとー」



近くに居たAちゃんも、そっと足を  
入れて、どろんの感  
触を確認中♪

最近、裸足でどろんこに入りましたか?サンダルではなく裸足で入ると浅い所のペタペタする感触、深い所ではとろ～り柔らかい感触、そして泥の温かさや水の冷たさなど色んなことを感じる事が出来ます。お家ではなかなかどろんこ遊びに踏み切るのは勇気がいるかもしれませんが、保育園では思いきりどろんこ遊びも楽しんでいけたらと思っています。洗濯物が増えますが、ご協力お願いします。そして「これなあに?」という問いかけは、物の名前を知るだけでなく、相手に働きかける経験を通して対人関係やコミュニケーションの基礎を育む大切な姿です。「知りたい」という気持ちを言葉で表現し、応えてもらう事で「自分の思いは相手に伝わる」「やりとりは楽しい」という安心感や信頼感に繋がっていきます。また、大人との丁寧なやりとりを重ねる中で、語彙が増えるだけでなく、相手の言葉を聞く力や、やり取りを続けようとする力も育まれていきます。お家でも「これなあに?」が聞こえてきた際はぜひ笑顔で応え、たくさん会話のやりとりを楽しんでみてください♪

## ～遊びの中で育つ生活の力～

気温が高くなり、水の冷たさが気持ちよかったり、雨で外に出れない日が増えてくるこの時期は色々な感触あそびが楽しい季節でもあります。先日は〈お麩〉遊びに挑戦してみました。乾燥したお麩を渡すと、みんな揃って口に運び、味を確認。そして匂いをかいでみたり、指先で押し潰してみたり、水をかけるとふにゃふにゃと柔らかくなる様子を見たりと五感をフル活用しながら遊びました。レンゲとお皿で、水中にふわふわ揺れるお麩をすくおうと追いかけたり、お皿に移そうと手首を使ったりと、目で見て自分の身体をコントロールするという事を自然と行っていました。こうした動きが、スプーンを使ってこぼさず食べる動きなどにも繋がっていきます。



レンゲでお麩をすくおうと頑張るDちゃん。焦らずそーっと慎重に……

色水や泡遊びでは、カップやジャグタンクを使ってジュース屋さんごっこ。



どうしたら出るのかな？  
使い方を覚えたEちゃんが手伝って色水を注いでくれました。  
その様子をしっかり観察するFくん。  
「こうやって使うのか〜」と真剣な表情ですね。

あひるチームはボールや風船、新聞紙で遊んだり、斜面や段差でたっぴり体を動かしながら過ごしています。



親指と人差し指を使ってしっかり新聞紙を掴みます。目線も指先をじっと見つめ、新聞紙が破れる様子や破れる音を楽しんでいます♪



給食でもだんだん掴み食べが上手になり、手の平全体を使い握っていたのが、指先を使ってつまんで食べることができるようになってきました。自分の思いで、自分のタイミングで食材を口に運ぶことでより食べる事が楽しくなっていきますね！

これから暑くなっていくので、夏らしい感触あそびもたくさん取り入れて、たっぴり五感を刺激しながら身体を動かしていこうと思います。

## 6月の目標

- 水の感触に慣れ、保育士や友達と水の遊びを楽しもう
- 保育士に見守られながら自分の身の回りのことをやってみよう